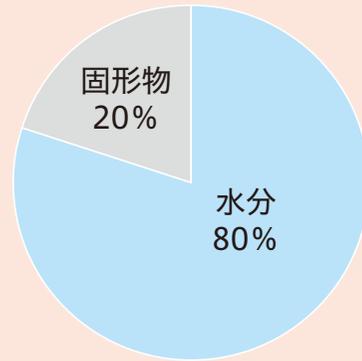


生ごみを減らそう

生ごみをぎゅぎゅっと水切り

生ごみの重さの約80%が水分です。
水切りをすることで、約8%の水分を減らすことができます。



水切りのメリット

- イヤな臭いの発生を抑える
- ごみの焼却効率が上がり、焼却場から出る二酸化炭素量を減らせる
- ごみが軽くなり、ごみ収集車の燃費もよくなり、余分な二酸化炭素量を減らせる

水分を減らすための3つのポイント！

ポイント 1 濡らさない

- ・野菜の皮は濡らさないよう、むいてから洗う
- ・水分の少ない野菜のくずや皮などは三角コーナーへ入れずに直接ごみ箱へ

ポイント 2 乾かす

- ・野菜の皮などは、新聞紙やチラシの上に置き、風通しの良いところで乾かしてからごみ箱へ

ポイント 3 ひとしぼり

- ・水切りネットなどはごみ出し前にひとしぼり



手を汚さないで水を切るコツ

- ペットボトルを切ったものや、不要になったCDなど、身近なものを使って簡単に水切りができます。
- ペットボトルは2リットル等大きめのものを使い、切り口はテープ等で保護します。



生ごみを減らそう

家庭用生ごみ処理機等の購入費補助制度

燃やせるごみの中で『生ごみ』の割合が約3分の1と一番多いです。その『生ごみ』を減らすために『生ごみ処理機等』を購入した方に購入金額の一部を補助します。

購入金額の2分の1 (上限2万円)を補助！

申請には『①申請書』『②領収書の写し』『③保証書の写し』『④請求書』が必要です。

パンフレットと申請書類は各市民センターや駅前連絡所、市役所7階、町田市バイオエネルギーセンター3階環境政策課窓口を設置しています。

書類はホームページからもダウンロードできます。



生ごみをたい肥にしよう ~ダンボールコンポストの紹介~

ダンボールコンポストは、ダンボール箱を利用して生ごみをたい肥化する生ごみ処理機のことです。箱の中に基材(町田市では竹チップ・竹炭を使用)を入れ、酸素を好む好気性の微生物の力によって生ごみを分解・処理してたい肥を作ります。

メリット

- ・手軽に始められる
- ・コンパクト
- ・電気代がかからない



デメリット

- ・かき混ぜる等の手間
- ・たい肥化まで時間がかかる
- ・箱の耐久性が低い

ダンボールコンポスト講習会

ダンボールコンポストの仕組みや使い方などを楽しんでいただく講習会です。参加者にはダンボールコンポストセットをプレゼント！開催日等は広報やホームページで告知しています。

